令和５年度（２０２３年度）公開研究発表会

# 「数学」公開授業のご案内

授業の見どころや単元構成のポイントです。学習構想案と併せてご覧ください。

## ２年クローバー♧グループ「平均」

見どころ

〇今回の授業は「平均から全体量を求めること」の導入としている。

〇平均を求め、その値を活用することが難しいので、実際に歩幅を測定しそれを活用できる場面を設けている。

単元構成のポイント

〇値に０がある場合の平均を求める際につまずいている生徒が多く、授業の中で値に０がある場合とない場合を指導すると混乱が予想されるため、２時間を確保して分けて指導を行う。

〇単元の最後には発展的な「仮平均」を扱うことで、平均をより多角的に理解できるようにする。

## １年ハート♡グループ「小数のかけ算」

見どころ

〇今回の単元では、実態に合わせて「積」という用語は使わずに「かけ算の答え」で統一をしている。

〇量感をイメージすることが苦手な生徒が多いため、実際の板を見ながら考えるなど、視覚的に量感を確認できるようにする。

単元構成のポイント

〇アセスメントテストの結果「小数×整数」の計算方法を理解している生徒は多いが、計算途中のミスが多く、本時にも影響があると考え、小数に整数をかける乗法と筆算形式の学習（小４内容）を扱いレディネスを整える。

## ２年スペード♤グループ「分数」

見どころ

〇単元全体を通して「クリスマスパーティーの計画」を題材にすることで生徒の興味関心を引き出し意欲的に学習できるようにする。

〇分数の量感をイメージできない生徒が多いため、計量カップなどの具体物を用いて分数を表し、視覚的に確認できるようにする。

単元構成のポイント

〇１より大きい分数の表し方について、帯分数と仮分数という２つの表し方に戸惑う生徒が多いと予想されるため帯分数と仮分数を数直線や図で表す活動を重点的に取り扱う。

## １年ダイヤ◇グループ「角の大きさ」

見どころ

〇今回の単元では角を回転させるなど操作的活動を大切にし、導入段階では角が辺の開き具合であることが視覚的にイメージできるようにする。

〇数学に苦手意識をもつ生徒が多いので、校外学習で体験したピザ作りを取り上げるなど身近な題材を準備して興味を引き出し、意欲的に学習できるようにする。

単元構成のポイント

〇実態に合わせて今回の単元は「角度を測ること・角をかくこと」に重点を置き、「三角形の作図」は全体でかき方を確認するのみで、生徒自身は作図を行わない。

# 令和５年度（２０２３年度）事例研究のご案内

各学年の各グループから１人ずつ計 12 人を対象に、個別の事例研究に取り組んでいます。

［1 年生］　学習履歴と定着状況の把握、学びの接続を考察、今後の支援の検討
［2 年生］　認知特性に応じた指導上の工夫、学習評価（目標・内容の達成を個別に捉える）

以下、12 事例研究についてポスター発表します。

《事例研究　テーマ一覧》

［1 年生］

| 習熟度別<br>学習ｸﾞﾙｰﾌﾟ | 学年 | 生徒 | テーマ |
|---|---|---|---|
| クローバー | １年 | A | 指導の充実を目指した実態把握と支援の方向性 |
| ハート | | D | |
| スペード | | G | |
| ダイヤ | | J | |

［2・3 年生］

| 習熟度別<br>学習ｸﾞﾙｰﾌﾟ | 学年 | 生徒 | テーマ |
|---|---|---|---|
| クローバー | ２年 | B | 文章問題の理解を目指した視覚的な情報の提供 |
| | ３年 | C | 思考のプロセスを共通にすることによる課題解決能力向上の取組 |
| ハート | ２年 | E | 操作的活動をとおして言葉の意味と数学的な概念の理解を図る取組 |
| | ３年 | F | 言葉の意味について具体的なイメージを持つための支援 |
| スペード | ２年 | H | 日常生活の様々な場面において四則計算を用いて適切に立式できることを目指した取組 |
| | ３年 | I | 数学用語と実生活をつなぐことによる効果的な指導 |
| ダイヤ | ２年 | K | 専門学科をきっかけに教科の学習への抵抗感を減らす取組 |
| | ３年 | L | 具体物を活用して基礎力を高め、応用や実生活に繋げていく取組 |